

障がいある人や、ひきこもり不登校の人たちとの明るい社会をつくるために

わんぱく学園ニュース新年号

平成31年 1月・2月号

No.194

新年明けましておめでとうございます♪ ♪

愛らしく、あまりにも清楚なたたずまい・・・秋から冬にかけ、けなげに咲く花背丈は20センチぐらい。我が道を一筋に歩むその姿から、愛の形見とも言われてきました。そう・・・デイジー（ひなぎく）の咲くころ_____。

(いくさば)

戦場に 咲くひな菊に 涙して

生きる世界はまるで戦場いくさば・・・どんなにあれた世界でも きっと夢や希望があるはず・・・と我が道を歩んできた障がいある人たち・・・

一途であるからこそ、そこに救いがあるのではないのでしょうか？。淡々と歩むその歩みに教えられ涙した私でした。

ひな菊の花



今年はイノシシ年🐗

猪突猛進！ 194号は私たちの活動をご支援していただいているお二人に原稿をいただきました。

我が島根県が生んだ偉大な芸術家、元東京芸術大学学長の澄川喜一氏、そして又我が国を代表する凸版印刷株式会社の専務取締役大久保伸一氏です。

お二人ともお忙しい中、ご寄稿いただきましたこと この紙面にて深く感謝申し上げます。

～NPO法人サポートセンターどりーむ 理事長 土江 和世

「一芸に一生」

私がセンター長を務める益田の芸術文化センター「グラントワ」内の石見美術館で水木しげるさんの代表作のゲゲゲの鬼太郎など沢山の作品が集められ大展示会が開催されています。

鳥取県のご出身ですが、パプアニューギニアの大激戦地に一兵士として参戦され左腕を失うと云う不運に見舞われました。

戦地を脱して日本に帰られ大変な苦労を重ねられましたが日本を代表する漫画家として立派な一生を送られました。

一芸に一生を捧げられた人だと思います。

人生とは好きな事を思い切りやり通す事ではないのでしょうか？

澄川喜一

すみ かわ き いち
澄川喜一 プロフィール

- 【略歴】 1931年 島根県六日市町生まれ
1956年 東京芸術大学 彫刻科 卒業
1981年 東京芸術大学 彫刻科 教授
1995年 東京芸術大学 学長（～2001年）
2004年 日本芸術院 会員
2005年 島根県芸術文化センター長・石見美術館長就任
2008年 文化功労者

【受賞歴】 平櫛田中賞、吉田五十八賞、紫綬褒章、紺綬褒章、日本芸術院賞・恩賜賞、NHK放送文化賞、島根県功労者、横浜市文化賞、中国文化賞 ほか多数

【現在】 日本芸術院第1部長、東京芸術大学名誉教授、新制作協会会員、日本美術家連盟理事、島根県芸術文化センター長・石見美術館長、日本建築美術工芸協会理事、東京スカイツリーデザイン監修者などとして活躍中。全国に野外彫刻・環境造形を多数手がける。

『真の「人財」とは』

凸版印刷株式会社取締役専務執行役員 大久保 伸一

「人財」という言葉を見て皆さんは何を思うでしょうか。

近年AIの技術も格段に進歩し、姿も思考も人類を凌駕すべく開発が着々と進んでいます。記憶力、計算力、分析力、検索力等では、人類はもはや遠く及ばない存在になりました。

しかしAIにはまだまだ到達しえない人間としての貴重な能力があります。それは「人を思いやる心」「人を敬う心」があることです。私はそれこそが人間としての価値に他ならないと思うのです。

聖書には「一粒の麦もし地に落ちて死なずば、ただ一つにてあらん、死なば多くの実を結ぶべし」とあります。命をかけた献身的行為が多くの人たちの幸福につながると言うことかと思えます。

また、陽明学においては「致良知」という言葉があります。良知というのは、幼い子が井戸に落ちそうな時に瞬間的に救いたいと思う心であり、それを実践することが大切だと言うことだと思えます。

私の知人で、若い根っこの会の会長がいますが、彼は「美しい花を見て根っこを思う人は少ない」と言います。美しい花を咲かそうと懸命に努力をする根っここそ美しいのではないのでしょうか。私は生きることの素晴らしさ、人のことを思う気持ちの大切さ、これを感じ実践する人こそ、「人財」なのではないかと思っています。

私には、1歳半になる孫が2人います。「じいじ」と呼ばれて、あどけない笑顔を向けられたときには、無上の喜びを感じます。

願わくば、私も「人財」の端くれとして、残りの人生を歩みたいと思います。

おおくぼしんいち
大久保伸一 プロフィール

凸版印刷株式会社 取締役専務執行役員

(人事労政本部長及び秘書室、法務・知的財産本部担当)

1951年茨城県大洗町出身。1975年に中央大学法学部卒業。同年、凸版印刷(株)入社。

秘書室長、人事部長を歴任し、2005年に取締役就任。2014年より現職。

(株)芸術造形研究所および(株)トッパンホールの代表取締役社長などを務める。

■ 1月&2月の「わんぱく学園」のメニュー

だれでも参加OK！ 出席もとらないからいつでも一人でもお友だち一緒でも大歓迎！

月 日	内 容
1月6日(日)	□ お休み
1月13日(日)	□ 初詣 一畑薬師へ 会費100円 ～気持ち新たに 干支(えと)「いのしし」にちなんで元気に初詣～ 集合場所：アトリエ「おちらと」 担当：常賀信寛
1月20日(日)	□ お餅つき大会 会費100円 ～恒例のお餅つき～ 集合場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江和世、坂根玄明
1月27日(日)	□ 益田クラントワにゲゲゲの鬼太郎を見に行こう！ ～平田から益田まで 家族も大歓迎！観覧は障がいある人と保護者1名 無料～ 貸し切りバス利用 ・集合場所：アトリエ「おちらと」 ・集合時間：9時厳守(送迎なし) ・現地出発時間：14時 ・到着時間：17時半～18時(予定) ・準備する物：昼食、障がい者に関する手帳(コピー可)、会費100円 ※ 到着等は参加者の状況・交通量等により、多少ズレあり 担当：常賀信寛
2月3日(日)	□ 正月あそび 会費100円 ～けん玉、駒回し 懐かしい正月あそび～ 場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江和彦
2月10日(日)	□ 書き初め 会費100円 場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江和世
2月17日(日)	□ 町の保健室 会費100円 ～悩み事いろいろあるね～
2月24日(日)	□ わんぱく鍋づくり 会費：100円 ～温かい鍋、持ち寄った材料で～ 場所：アトリエ「おちらと」 担当：常賀信寛

*集合時間：9時50分 集合場所：指定の場所へ来てくださいね。

問い合わせ&発行元

〒691-0031 出雲市東福町156-1 NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL & FAX：0853-62-4872 メール：sc-dream-kt@sky.plala.or.jp

art-art@amail.plala.or.jp